

今、必要なこと！！ 災害発生事の避難所対策を考える

長野県で新型コロナ感染症の緊急事態宣言が解除されましたが、引き続き感染防止の取り組みが求められています。災害が発生した場合の避難所対策はマスコミでも報道され、国・県も文書で市町村に対策を求めています。今、求められる課題について考えてみました。

《課題》 分散避難及び感染症を発生させない避難所運営の取り組みを

1. 分散避難の取り組みを提案する

避難所は三密（密集・密接・密閉）となるので、感染防止のため各家庭の状況に応じた「分散避難」を行い、避難所での密度を減らすことが大切です。避難先は下記の3箇所とします。

- ①親戚・友人宅へ避難する（事前に了解を取っておくこと）。
- ②在宅避難（その場合、1週間分の水・食料・トイレ消臭剤などを備蓄しておくこと）。
- ③町で定めた指定避難所に避難する。

以上に基づき、私は次のことを町に提案したいと思います。
イ。各家庭ごとに避難先の調査を行う（池田町ハザードマップを参考に）。
ロ。③を選択した人数を指定避難所ごとに集計し、避難所対策を検討する。
ハ。③の指定避難所に入りきれない場合は、新たな避難所を増やす取り組みを検討する。

2. 感染が起きにくい「避難所運営マニュアル」の作成を提案する

避難所での感染を抑えるには、避難世帯ごとの間隔を四方2mずつ空け、仕切り板や段ボールベッドの利用が必要です。マスクや消毒の徹底、受付時に熱のある人などは別の部屋にするなどの感染が起きにくい「避難所運営マニュアル」を作成し、周知徹底を図る取り組みが求められます。また、感染症が発生した場合の対応マニュアルも必要です。

5月21日議会協議会 新型コロナ対策支援 第2弾

◎ 18歳以下のお子さんに一人1万円支給！

（登録口座に振込まれる）

◎ 24歳以下の学生さんに一人1万円支給！

（9月30日まで申請できる）



写真 今年も綺麗に咲いた
広津高照山のシラネアオイ
（2020年5月9日）

今回の支援事業は国の新型コロナ地方創生臨時交付金を用いたものです。総事業費1億580万円（財源：交付金 9,324万円、町の一般財源 1,256万円）で、次のような事業項目も含まれています。

- 避難所用パーティション購入 ○感染防止用エタノール購入（町内医療機関に配布）、次亜塩素酸生成装置購入（希望者に配布）
- 小中学校オンライン学習支援用のオンライン端末を全生徒に支給
- 小中学校の通信ネットワーク整備、オンライン学習環境の整備
- 町内飲食店弁当配達支援
- 新型コロナ支援 第1弾 町内業者支援事業の財源振替え ⇒ 事業費約5,100万円のうち約4,100万円を町財政調整基金から国交付金に。

《今月の短歌》

新型のコロナをよそに
咲き誇る 里をいろどる
シラネアオイよ